

原稿は、指定様式をダウンロードして (<http://www.jsass.or.jp/web/annai/content0031.html>) を用い、第Ⅱ項に示す注意事項に従って執筆ならびに図の作成をすること。

投稿原稿は PDF ファイルでも投稿が可能である。PDF ファイルの作成方法の詳細は第Ⅲ項を参照のこと。ただし、掲載が決定した後、著者は編集可能な形式で作成された最終原稿（原則 Microsoft Word）を提出することが求められる。

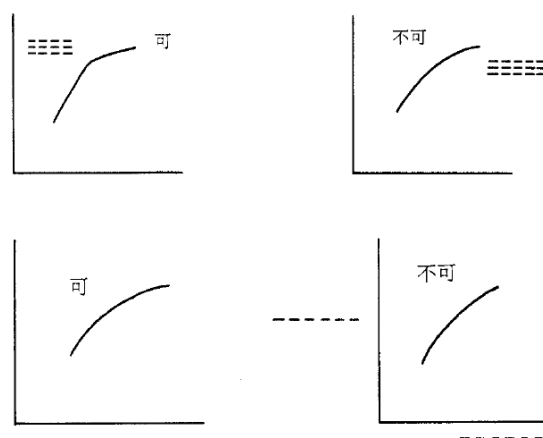
I. 原稿様式

1. 掲載イメージの掲載指定様式に従って原稿を作成する。書式は 26 字×51 行の 2 段組とする。ただし、原稿受理日等が記載される 1 頁目の脚注、ならびに、各頁の上に記載されるはしらは編集部で作成する。
2. 所定様式の表紙を提出する。
3. 原稿枚数は投稿規定に定められた制限頁数を超えないように留意する。
4. 誌面に掲載し得る最大幅は 1 段の場合 85mm、2 段通しの場合 175mm である。この幅を守って、原稿内に図面を貼り付ける。
図中の文字の大きさは 2mm 以上になるよう、また、○●等のシンボルは 1mm 程度以上となるよう配慮することが望ましい。線の太さにも同様に配慮すること。

II. 原稿執筆上の注意

1. 和文概要
本文の前に 400 字以内の和文概要をつける。
2. 英文概要
英文概要は著者の判断で付けることが可能であり、作成する場合は、150 語以内の英文概要を和文概要の次に付ける。ただし、特集や連載の場合には、その特集/連載を通して英文概要を掲載するかしないかを統一する。
3. 章タイトル
各章のタイトルは「1. はじめに」のように、章番号を最初に付け、中央揃えとする。

4. 本文文章体
文章は平易な漢字平仮名まじり口語体文章で「である調」とする。
5. 式および数字
文中の数式は $\frac{2}{3}$, $\frac{a}{b}$, $\frac{dy}{dx}$ のように記さず、2/3, a/b, dy/dx のように記す。
印刷にあたっては、物理量を表すローマ字やギリシャ文字には一般にイタリック体を用いられるので、投稿原稿もこの書体を用いる。本文中で式を引用する場合は、(1)式のように表す。
6. 単位系
SI の単位を使用する。ただし、従来の単位を併記あるいは必要な換算表を付記して差支えない。
7. カラー図表
図、表、写真はカラー印刷、モノクロ印刷のいずれとするかを投稿時に決めて、出来上がりイメージで投稿すること。校閲終了後での変更はできない。
8. モノクロ図面
著者の指定が無い限り図はモノクロ印刷となる。この点を配慮し、モノクロ印刷の場合は、図に着色または濃淡による区別はせず、必要な場合はハッチ等を用いる。



第 1 図 軸および図中の説明記入例
上段：図中の説明は軸の範囲内に書く
下段：縦軸の説明は縦軸と並行に書く

9. 図中の文字

図中の記号は原則として本文中のものと一致するようイタリックとする。

7. セキュリティの指定は一切行わないこと。

10. 図中の説明文

縦、横軸の説明は原則として軸と平行に、また図中の説明や式などは第1図のように書く。

11. 図と写真のキャプション

図及び表は単に第1図、第2表などとしなくて、わかりやすいキャプションを入れる。なお、図○、写真○のように図と写真を区別せず、一貫して第○図とする。

12. 引用図面

他の文献から引用した場合はキャプションに、その出所を記入する。

13. 引用文献

引用文献は論文末尾にまとめ、本文中では通し番号で¹⁾、^{1,2)}あるいは^{2~4)}などのように引用する。末尾引用文献記載例を示す。

(雑誌の例)

3) Hains, F.D. and Keyes, J.W.: Shock Interference Heating in Hypersonic Flows, AIAA J., **10** (1972), pp.1441-1447.

(単行本の例)

5) Batchelor, G.K.: An Introduction to Fluid Dynamics, Cambridge University Press, London, 1967, pp. 580-593.

14. 著者紹介

著者紹介は、顔写真と150字以内の紹介文で作成する。紹介文は、名前、会員資格、略歴（西暦の生年、出身都道府県名、最終学歴・卒業または修了年、職歴・所属）、専門分野、他学会活動状況等で作成する。ただし、特集のように複数の記事の著者である場合は、最初に会誌に掲載される記事のみに紹介が掲載される。

Ⅲ. PDF形式ファイル作成時の注意事項

1. PDF形式に変換する場合は、Adobe Acrobatの使用を推奨する。
2. Version 1.5 (Acrobat 6.0) pdf形式を推奨する。
3. 解像度は600dpi以上にすること。
4. ファイルサイズは5MByteを上限とする。
5. シンボル、スペース、和文フォント等全てのフォントを埋め込むこと。
6. ブックマークを作成しないこと。